

▽あゝの山戀し(五卷)

帝キネ現代映畫

原作脚色並監督者

大森 勝氏

撮影者

谷口 禎氏

主演者

杉村 チエ子嬢

紹介

第二百六十二號

杉村チエ子嬢の爲めに脚色され製作された映畫であるだけ、可愛らしいチエ子嬢の面目は躍如として居る。ミチ子が繼母に虐げられながら妹さ繼母を火中から救ひ出そうと努める邊りなど婦人客の涙を唆らすには置かない。大森勝氏の脚色並監督はこんなものには手馴れたもの。チエ子嬢を上手に操つて、安全第一の商品映畫なものにして居る。御景物に添えた光江ミチ子嬢のラヴシーンには一寸目新しい所のラヴシーンを見せて喜劇味を加へて居る。助演では

森かね子嬢の光江が女學生らしくて好かつたのと、二條玉子嬢が敵役の方面で賣出して居るのが印象に残つた。里見明氏の正太郎は少し影が薄い。

山本 綠葉
興行價値——杉村チエ子嬢の可憐な演技で、瀟灑の涙を絞る事を目的で作られた映畫だけ、婦人客などには文句なしに受ける事確かである。
(十月八日、大阪青透劇場、神戸相生座、京都キネマ倶楽部封切。)